

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	勝山高等学校		所在地	真庭市勝山481		
敷地面積	35,065.96 m ²		棟数	49 棟 (計画記載対象 13 棟)		
延床面積	12,587.15 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため					
【想定される自然災害】						
予想震度 5強 津波 - 浸水 -						
建築規制	非線引き都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)		
	221,480 kWh	28 m ³	2,815 m ³	4,047 ℓ		
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 真庭市指定緊急避難場所・指定避難所(土砂災害、洪水、地震)					

1 施設内建物の概況

名称	体育館(105棟)65	普通教室棟(53棟)1	特別教室棟(66棟)44-1
築年(西暦)	2000年	1963年	1970年
構造	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	1,353.90 m ²	208.83 m ²	546.94 m ²
延床面積	1,531.57 m ²	418.22 m ²	1,093.88 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	普通教室	化学教室 生物教室 物理教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	消防設備(自動火災報知設備)

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	商業教室棟(70棟)45-1	格技場(82棟)54	特別教室棟(84棟)44-2
築年(西暦)	1971年	1974年	1975年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	251.85 m ²	378.45 m ²	227.91 m ²
延床面積	503.70 m ²	428.69 m ²	725.50 m ²
主要な用途 (室名等)	商品実験室 情報処理室	武道場	調理室 被服室 コミュニケーション&コラボレーションルーム
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備)	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	(コンピューター室)特別教室棟(86棟)45-2	(芸術棟)特別教室棟(87棟)45-3	普通教室棟(89棟)45-4
築年(西暦)	1978年	1981年	1982年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	251.85 m ²	239.54 m ²	355.92 m ²
延床面積	251.85 m ²	718.62 m ²	1,067.72 m ²
主要な用途 (室名等)	情報処理室	美術教室 書道教室 音楽教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	同窓会館(96棟)68	本館棟(98棟)62	男子寄宿舍(77棟)52
築年(西暦)	1984年	1995年	1973年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	190.60 m ²	875.59 m ²	322.76 m ²
延床面積	407.06 m ²	2,976.38 m ²	630.76 m ²
主要な用途 (室名等)	多目的室 会議室	校長室 事務室 教員室	男子寮
主要な設備 (屋外を含む)	-	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	低
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	屋根

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	女子寄宿舍(93棟)59			
築年(西暦)	1983 年			
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階			
建築面積	272.43 m ²			
延床面積	701.79 m ²			
主要な用途 (室名等)	女子寮			
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備			
利用状況	低			
耐震性 ※1	有			
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2			
	中性化 ※3			
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適		
	地盤沈下 ※5	適		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし			

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
体育館(105棟)65	予防保全を図る。
普通教室棟(53棟)1	予防保全を図る。
特別教室棟(66棟)44-1	長寿命化改修を行う。
商業教室棟(70棟)45-1	長寿命化改修を行う。
格技場(82棟)54	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(84棟)44-2	長寿命化改修を行う。
(コンピューター室)特別教室棟(86棟)45-2	長寿命化改修を行う。
(芸術棟)特別教室棟(87棟)45-3	予防保全を図る。
普通教室棟(89棟)45-4	予防保全を図る。
同窓会館(96棟)68	予防保全を図る。
本館棟(98棟)62	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
男子寄宿舍(77棟)52	設備等の定期更新を行う。
女子寄宿舍(93棟)59	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(70棟、86棟)2019年度 設計 2020年度以降 施工
(66棟、84棟)2023年度以降設計・施工
(82棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
体育館(105棟) 65	予防保全		予防保全を図る。								
普通教室棟(53棟) 1	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(66棟) 44-1	長寿命化改修							設計・施工 2			
商業教室棟(70棟) 45-1	長寿命化改修			設計	施工 2						
格技場(82棟) 54	長寿命化改修							設計・施工			
特別教室棟(84棟) 44-2	長寿命化改修							設計・施工 66棟に含			
(コンピューター室)特別教室棟(86棟) 45-2	長寿命化改修			設計 70棟に含	施工 70棟に含						
(芸術棟)特別教室棟(87棟) 45-3	予防保全		予防保全を図る。								
普通教室棟(89棟) 45-4	予防保全		予防保全を図る。								
同窓会館(96棟) 68	予防保全		予防保全を図る。								
本館棟(98棟) 62	設備等の定期更新				トイレ 洋式化						
男子寄宿舎(77棟) 52	設備等の定期更新						給湯器				

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
女子寄宿舎(93棟) 59	予防保全		予防保全を図る。								

4. 概算費用

総額 5億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.3	本館棟(98棟)において、設備等の定期更新を追加
R3.11	本館棟(98棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R4.3	男子寄宿舍(77棟)において、設備等の定期更新を追加
R5.3	特別教室棟(66棟)及び特別教室棟(84棟)において、長寿命化改修工事のスケジュールを変更